

ウエスタンスタイルのカフェへ 久しぶりにアメリカの街道を感じました

アメリカで見かけたなつかしい街道筋の古い田舎のトラックストップ
古いジャズが聞こえてきそうな感じの店が 国道 175 号線の甲武橋の東山陽新幹線高架脇にある



国道 171 号線 武庫川に架かる甲武橋より西側 六甲・甲山を眺める 甲武橋右側に山陽新幹線が並行して川を渡る



国道 171 号線 甲武橋高架すぐ東 「U-K CAFE WIRDCATS」

アメリカで見かけたなつかしい街道筋の広い駐車場のある古い田舎のトラックストップ。 何度かアリゾナの街道筋で連れて行ってもらったことがあり、映画やTVなどで見ると懐かしい。

そんな古いジャズが聞こえてきそうな感じのウエスタンスタイルのカフェ店が国道 171 号線の甲武橋の東山陽新幹線高架脇にあり、星条旗が掲げられ、数多くの若者の車が止まり、高級車も……。171号線を通るたびに一度ぜひ立ち寄って、中の様子見に行こうと話すが、若者向きの店のようでもあり、ちょっと行きそびれていました。

神戸向いて帰る時には反対車線になっていて、国道 171 号線からは直接はいれず、店の南北両側を甲武橋の高架橋

と新幹線の高架橋に挟まれ、店への入り方がむつかしいく、数度トライしたのですが、行き着けない。

早朝に孫を伊丹まで送っての帰りの昼飯時、「今日はちゃんと店に行ってみよう」と再トライ。北側の新幹線高架橋のわき道を一旦東に折れ、高架橋をくぐって、西へUターンして、171号線をクロスすることで、難なく店の広場に出れました。判るとなんとということもなし。



店の名前をカフェ「U・K CAFE WIRDCATS」という。
店の入り口横の車庫に外車のスポーツカーが展示されている



カフェ「U・K CAFE WIRDCATS」の正面 左の車庫には 外車が並べて 展示されている

ひっきりなしに車の若者が店に入って、テラスにもラフスタイルの若者たちがテーブルを囲んで、くつろいでいる。でも 外からは中の様子がよくわからない。

「ちょっと 年齢からすると場違いの気もするが、入ろう」と好奇心むらむら。

扉を開くと アメリカノカントリーか ロックか 私には頓珍漢なのですが、アメリカミュージックが流れ、飛び込んできた店の様子はアメリカの古い街道筋のカフェ。

木造づくりで せせこましく区切られ、天井・壁から間仕切りまで、至る所にルート 66 の表示板やカープレートにミニカーなど大量の車・街道コレクションが所狭しと飾り付けられ、アメリカの古い街道筋のカフェを演出。

プレート運ぶウェイターも野球帽Tシャツのラフスタイル。一番びっくりしたのが、ウェイターが運ぶプレートに乗っている料理の多さ。これぞ田舎道のアメリカやと・・・。



カウンターテーブルに腰かけてきょろきょろ。店の中は思った以上に年齢層も広いし、いかにもカーマニアの一群と思えるしゃれた人たちも。でも、周りのテーブルの料理の量すこいなあと。メニューをみると、値段は手ごろなので安心。ユーヤッパリ 気軽に這入れる店なんだと。

やって来たウェイターに「初めてで様子がわからん。それにしても すごい量が盛られているなあ」というと、笑いながら「大丈夫 飲み物だけ もう一つ頼んで 二人で ライスプレートの料理をシェアする人もいる。ランチライスのセットメニューがリーズナブルでおすすめ」というので、ランチメニューの「テリヤキねぎすじライスプレート」にアメリカンコーヒーをもう一つ頼んで2人でシェアする。「アメリカでも シェア ようやったなあ・・・」となつかしい。



料理のボリュームが半端でない。
ゆうに二人前は越える。これぞ アメリカやと

コーヒーはお替り自由。 運ばれてきた料理を食べながら、好きな音楽に耳を傾ける。
みんな ゆったりとくつろいでいる。
うれしくなりました。 こんな街道筋の店が日本にもあったんだと。

実は 店の大きな看板に「U・K CAFE WILDCATS」とあって、星条旗がはためいている。 そして ハンバーガーの看板もある。 店に入ってゆく人たちは車のマニヤのようなかっこええラフスタイル。

「U・K」は英国・・・ ならば なんで 星条旗??? と 国道171号線を通るたびに不思議でしたが、店に入ってやっと謎解き。

「U・K」は「Univercity of Kentucky(アメリカ・ケンタッキー大学)」オーナーの留学先で、「旅の途中に出くわしたルート66(アメリカの国道)。

ルート66沿いにはトラックストップが多く、夜中も開いてる店が多く、そんな店を作りたいと思い、また、腹一杯の食事をとメニューは量が多いのだ」という。

店に流れる音楽はロックンロール&サザンロック&ソウル&レゲエをコンセプトに流して営業しているという。

店に不似合の二人連れでしたが、腹いっぱい昼食が取れ、きよろきよろ 飾り付けられたコレクションを楽しみながら ゆったりとお茶して・・・ アメリカの街道筋の思い出にひたりました。

ウェイターとも楽しい会話もできて、 久しぶりのアメリカを感じたウエスタンスタイルのカフェ。

また、ゆこう 今度は夜 ネオンが付いてからやなあ・・・と。

久しぶりに アメリカの古い街道筋のカフェを感じて うれしくなったの紹介です。

2014. 5. 8. From Kobe Mutsu Nakanishi



写真など一部インターネット「UK CAFE by UK WILDCATS~UKカフェ」 <http://ukcafe.net/index.html> から、拝借させていただきました。